

## 2年総探・フィールドワーク(2)

和歌山県立  
日高高等学校

SGH ネットワーク 通信  
第11号

2021年12月5日



▲地域と防災 A03班  
小学校で「防災クイズ」を実施



◀地域と産業 B04班  
「梅シロップの残りの使い道」  
を探る調理実習



国際社会と地域 A02班▶  
「食品問題の改善」を目指す  
調理実習

▼地域と防災 A03班 保育園で手作り紙芝居の読み聞かせ



### ★ ★ 生徒の学び ★ ★

#### 2年2組 岡山 穂乃香 地域と文化 A03班 「地域の神社」

当日は、おたき瀧法寺を訪問し、有力な情報やお話を聞き出すことができた。実際に、独鈷杵、三鈷杵、五鈷杵を見ることもできた。

これまでの取組を振り返って努力が必要な部分を挙げるとしたら、時間を有効に使えていないところだと思う。フィールドワーク後は、聞いたことをまとめながら発表の準備についても計画を立てて動いていかないといけない。総探に取り組む中で、限られた時間を有効に使うことが大切だということを学んだ。

#### 2年1組 和田 実莉 地域と防災 A03班 「地震のメカニズムと 発生後の対応」

これまでの自分の取組を振り返って、評価できる部分は計画的に動けたことです。フィールドワーク当日までに、紙芝居を仕上げることができました。実際に保育園では、子どもたちや先生方に喜んでもらえるような発表ができて嬉しかったです。子どもたちは地震発生時の「気をつけること」や「取るべき行動」を紙芝居を通じて教えることができたと思います。先生方にも「良い発表をありがとう」と言ってもらえたので、伝えたいことをきちんと伝えられたという実感が湧きました。

実際に読み聞かせをしてみて、子どもたちに感想を聞くと、「知っている(知識だった)」と言う子どももいました。保育園で勉強していることとしていないことをもっと調査して、「知らなかった」ことについて教えてあげられるような内容にしたいと振り返りました。

また、今回は「地震発生時」のことだけを取り上げて物語にしていたので、次は「発生後」についての知識を教えるような紙芝居を作りたいと思いました。